

2023年度

尾鷲市水道事業  
要覽

# 目 次

I. 水道事業の沿革	
1. 尾鷲市のあゆみ	1
2. 水道事業の沿革	1
II. 機 構	
1. 機構図	2
2. 職員配置状況	2
3. 事務分掌	2
III. 配水・給水	
1. 事業別取水内訳	3
2. 上水道月別配水量	3
3. 給水状況の推移	4
4. 口径別給水件数	5
5. 口径別使用量	6
6. 使用量別集計	7
7. 年度別件数/使用量/使用料金の推移	8～9
8. 水道料金表	10
9. 水道料金分析表	11
10. 料金徴収方法別件数	11
11. 検針員及び徴収員の人数	11
12. 漏水事故発生件数	12
13. 給水加入状況	13
14. 管路延長	14～16
IV. 財務状況	
1. 損益計算書	17
2. 貸借対照表	18～19
3. 資本的収支	20
4. 費用構成表【年度別】	21
5. 費用構成表	22
6. 企業債の概要	23
V. 経営分析	
1. 資産及び資本構成比率	24
2. 回転率	25
3. 損益に関する比率	26
4. その他比率	27
5. 経営指標一覧表	28～34
VI. 施設概要	
1. 水源施設数	35
2. 各施設ポンプ能力	36
3. 電力使用量	37
4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表	38
5. 施設住所	39
VII. 設備	
1. 上水道	40～46
2. 簡易水道	47～53

## I. 水道事業の沿革

### 1 尾鷲市のあゆみ

尾鷲市は、三重県南部東紀州地域の中央に位置し、市域は東西21km、南北19kmで、総面積は192.71km<sup>2</sup>を有しています。

歴史的には、江戸時代に林業、漁業を中心に繁栄し、江戸や大阪へ回船が行き来することで、昭和初期まで栄えてきました。

戦後、1954年(昭和29年)に尾鷲町、須賀利村、九鬼村、北輪内村、南輪内村が合併して、現在の尾鷲市が誕生し、その後、日本の経済成長とともに、水力発電所建設に始まり、国鉄紀勢本線の全面開通、尾鷲三田火力発電所の建設、国道42号の大改修などのビッグプロジェクトを経て、人口や経済が進展し、本市の基盤を形成しました。

しかし、その後のいわゆる「高度経済成長期」以降においては、尾鷲市から大都市に向かって若い人たちが流出し始め、過疎・高齢化による漁業、林業の後継者不足が進み、継続的に人口が減少しています。これまでも、さまざまな対策を行ってきましたが、過疎・少子高齢化に歯止めをかけることはできず、経済活動の縮小による企業の撤退や商店の閉鎖などが続いています。

尾鷲市には、美味しい魚や尾鷲ヒノキ、海洋深層水、熊野古道など海・山の資源や未開発の自然などの魅力がたくさんあります。この資源や魅力を活用し、市民と行政が力を合わせ、共に知恵を出し合い、また、外部（産学、来訪者など）の協力を得ることで、まちに活気を取り戻し、市民や訪れる人々が幸せや心の豊かさを得られるまちにしていけることが大切です。

このような中、本市においては、2022年度(令和4度)より2031年度(令和11年度)を目標年度とした第7次尾鷲市総合計画を策定し、将来の都市像を「住みたいまち 住み続けたいまち おわせ」として、近年増加している災害に備え、まちづくりの色々な面で災害に強いまちを創ることを目指した「国土強靱化地域計画」と、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域社会を目指す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を一体的に作り上げ、尾鷲市にある色々な計画同士をつなぐことによって、効果的により良いまちづくりに取り組んでいます。

### 2 水道事業の沿革

尾鷲市には、現在、上水道事業の他に、須賀利簡易水道事業、九鬼簡易水道事業、早田簡易水道事業、三木浦簡易水道事業、三木里簡易水道事業、賀田・古江簡易水道事業、曾根簡易水道事業、梶賀簡易水道事業の8簡易水道事業が存在しています。

上水道事業は、上水道認可を1960年3月(昭和35年)に創設し、その後、国鉄紀勢本線の全線開通及び尾鷲第二水力発電所完成に伴い1961年12月(昭和36年)、事業変更により計画給水人口20,000人、日最大給水量10,000m<sup>3</sup>/日となり、市勢の発展とともに需要水量も増加してきました。

1978年3月(昭和53年)に第1次拡張事業認可により、馬越簡易水道、大曾根簡易水道、行野簡易水道を上水道に統合し、計画給水人口26,000人、日最大給水量20,000m<sup>3</sup>/日とし、送配水施設の整備を行ってきました。

その後、人口減少などに伴う水需要の低迷のため、計画の見直しをはかり、1982年3月(昭和57年)に第1次拡張第1次変更事業認可、2003年3月(平成15年)に第1次拡張第2次変更認可、2013年3月(平成25年)に第1次拡張第3次変更事業届出書により、計画給水人口16,500人、日最大給水量14,500m<sup>3</sup>/日となっております。その後、2015年11月(平成27年)には、上水道の水源となる第2号井が撤去となったため、第1次拡張第4次変更事業届出書により、廃止をいたしました。

今後は南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生が予想されるなか、将来にわたって安全でおいしい水を安定供給するため、水道施設の老朽化や、地震災害対策を計画的に推進するとともに、良質な水道水源確保のための水質保全を積極的に推進する必要があります。

## II. 機構

### 1. 機構図



### 2. 職員配置状況

所属	事務	技師	計
部長	1		1
次長兼係長	1		1
主幹兼係長			
係長		2	2
総務係	2		2
工務係		2	2
送水場係		2	2
計	4	6	10

### 3. 事務分掌

#### 総務係

- (1) 業務の総合調整に関すること。
- (2) 職員の身分取扱に関すること。
- (3) 予算、決算に関すること。
- (4) 出納その他の会計事務に関すること。
- (5) 契約に関すること。
- (6) 資産の管理に関すること。（ただし貯蔵品の管理を除く。）
- (7) 広報宣伝に関すること。
- (8) 文書及び公印の管理に関すること。
- (9) 業務統計に関すること。
- (10) 量水器の点検に関すること。
- (11) 水道料金の調定及び徴収に関すること。
- (12) その他の係の所掌に属しないこと。

#### 工務係

- (1) 水道施設の企画設計及び工事施行に関すること。
- (2) 水道施設の維持管理に関すること。（ただし送水場及び加圧施設を除く。）
- (3) 給水装置に関すること。
- (4) 貯蔵品の管理に関すること。
- (5) その他水道施設に関すること。

#### 送水場係

- (1) 水道用水の浄水、送水並びに供給に関すること。
- (2) 給水記録の整理報告に関すること。
- (3) 送水場及び加圧施設に関すること。
- (4) その他送水施設に関すること。

### Ⅲ. 配水・給水

#### 1. 事業別取水内訳

施設名	取水方法	施設数	公称能力	取水量(m <sup>3</sup> )	1日平均
			(m <sup>3</sup> /日)		取水量(m <sup>3</sup> )
上水道	伏流水	2	10,000	2,150,837	5,877
	浅井戸	3	2,580	629,607	1,720
上水道 計		5	12,580	2,780,444	7,597
須賀利簡易水道	浅井戸	2	297	32,618	89
九鬼簡易水道	表流水	1	495	69,534	190
早田簡易水道	表流水	1	81	10,821	30
三木浦簡易水道	表流水	2	326	68,226	186
三木里簡易水道	伏流水	1	643	138,517	378
賀田・古江簡易水道	浅井戸	2	1,000	219,852	601
曾根簡易水道	表流水	1	84	24,040	66
梶賀簡易水道	表流水	1	152	16,778	46
簡易水道 計		11	3,078	580,386	1,586
合計		16	15,658	3,360,830	9,183

#### 2. 上水道月別配水量

年月	区分	配水量 (m <sup>3</sup> )	1日平均 配水量(m <sup>3</sup> )	1日最大 配水量(m <sup>3</sup> )
令和2年度		2,858,533	7,832	9,095
令和3年度		2,792,474	7,658	8,570
令和4年度		2,823,278	7,744	8,877
令和5年4月		234,659	7,822	8,169
令和5年5月		221,269	7,138	7,810
令和5年6月		231,129	7,704	7,820
令和5年7月		226,438	7,304	8,441
令和5年8月		238,427	7,691	8,288
令和5年9月		240,434	8,014	8,268
令和5年10月		230,495	7,435	8,152
令和5年11月		231,091	7,703	7,796
令和5年12月		226,852	7,318	7,977
令和6年1月		242,065	7,809	8,518
令和6年2月		236,402	8,152	7,968
令和6年3月		221,183	7,135	7,957
令和5年度	計	2,780,444	7,602	8,518
増加量		-42,834	-141	-359
増加率		-1.52	-1.83	-4.04

### 3. 給水状況の推移

#### (1) 年度別

項目	年度	H30	R01	R02	R03	R04	R05
計画給水人口(人)		26,900	26,900	26,900	26,900	26,900	26,900
行政区域内人口(人)		17,774	17,421	17,053	16,603	16,139	15,713
給水人口(人)		17,760	17,409	17,041	16,593	16,129	15,701
水道普及率(%)		99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
給水戸数(戸)		9,396	9,290	9,188	9,067	8,928	8,801
給水件数(件)		10,374	10,112	9,964	9,790	9,649	9,575
配水量(千m <sup>3</sup> /年)		3,781	3,615	3,466	3,363	3,407	3,361
有収水量(千m <sup>3</sup> /年)		2,578	2,458	2,459	2,433	2,307	2,254
有収率(%)		68.18	68.01	70.94	72.36	67.72	67.08
給水原価(円/m <sup>3</sup> )		181.46	180.80	178.58	177.77	196.56	198.43
供給単価(円/m <sup>3</sup> )		183.23	182.02	166.43	180.39	164.89	181.24
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )		10,535	9,876	9,495	9,213	9,333	9,183
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )		13,176	11,510	11,438	10,599	10,791	10,349

#### (2) 令和5年度事業別

項目	年度	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
計画給水人口(人)		16,500	1,000	2,200	270	1,160	1,670	2,500	700	900
行政区域内人口(人)		13,132	174	357	99	458	510	726	125	132
給水人口(人)		13,121	174	357	99	458	509	726	125	132
水道普及率(%)		99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	99.8	100.0	100.0	100.0
給水戸数(戸)		7,128	124	232	72	287	322	465	88	83
給水件数(件)		7,627	156	287	82	310	366	543	90	114
配水量(千m <sup>3</sup> /年)		2,780	33	70	11	68	138	220	24	17
有収水量(千m <sup>3</sup> /年)		2,780	33	70	11	68	138	220	24	17
有収率(%)		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
給水原価(円/m <sup>3</sup> )		182.55	285.80							
供給単価(円/m <sup>3</sup> )		180.92	176.51							
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )		7,597	89	190	30	186	379	600	66	46
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )		8,518	146	222	34	215	433	660	72	49

5. 口径別給水件数

(1) 年度別

口径 \ 年度	H30	R01	R02	R03	R04	R05
φ 13	9,074	8,972	8,820	8,679	8,528	8,455
φ 20	871	849	859	831	839	838
φ 25	141	142	139	135	133	136
φ 30	50	49	48	47	50	49
φ 40	55	58	57	57	59	58
φ 50	34	33	32	32	31	31
φ 75	8	7	8	8	8	7
φ 100	2	1	1	1	1	1
φ 150	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	1	0	0	0	0
合計	10,236	10,112	9,964	9,790	9,649	9,575

(2) 令和5年度事業別

項目 \ 年度	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 13	6,640	147	264	79	292	339	504	83	107
φ 20	750	6	16	1	10	19	28	4	4
φ 25	112	3	3	1	6	2	6	1	2
φ 30	39	0	3		1	3	1	1	1
φ 40	50	0	1	1	1	2	2	1	0
φ 50	29	0	0	0	0	0	2	0	0
φ 75	6	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 100	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 250	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7,627	156	287	82	310	366	543	90	114

4. 口径別使用量

(1) 年度別

[単位：千m<sup>3</sup>]

口径	年度	H30	R01	R02	R03	R04	R05
φ 1 3		1,688	1,651	1,668	1,608	1,547	1,494
φ 2 0		230	224	220	220	213	200
φ 2 5		90	95	96	87	76	79
φ 3 0		70	83	63	71	74	71
φ 4 0		127	131	146	156	142	153
φ 5 0		204	173	162	175	153	155
φ 7 5		94	85	82	111	97	98
φ 1 0 0		13	9	2	5	5	5
φ 1 5 0		0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0		0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0		62	7	20	0	0	0
合 計		2,578	2,458	2,459	2,433	2,307	2,255

(2) 令和5年度事業別

[単位：千m<sup>3</sup>]

項目	年度	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 1 3		1,246	16	33	11	43	51	73	10	11
φ 2 0		182	1	2	0	2	3	9	1	0
φ 2 5		59	0	2	0	1	13	0	2	2
φ 3 0		60	0	8	0	0	1	1	0	1
φ 4 0		144	0	1	0	0	3	3	2	0
φ 5 0		148	0	0	0	0	0	7	0	0
φ 7 5		97	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 1 0 0		5	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 1 5 0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		1,941	17	46	11	46	72	93	15	14

6. 使用量別集計

(1) 上水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0m <sup>3</sup> ~10m <sup>3</sup>	3,174	163,053
11m <sup>3</sup> ~30m <sup>3</sup>	3,632	852,581
31m <sup>3</sup> ~50m <sup>3</sup>	628	313,812
51m <sup>3</sup> ~80m <sup>3</sup>	97	90,010
81m <sup>3</sup> ~150m <sup>3</sup>	42	61,775
151m <sup>3</sup> ~200m <sup>3</sup>	16	28,667
201m <sup>3</sup> 以上	38	430,863
合 計	7,627	1,940,761

(2) 簡易水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0m <sup>3</sup> ~10m <sup>3</sup>	1,141	50,794
11m <sup>3</sup> ~30m <sup>3</sup>	708	162,310
31m <sup>3</sup> ~50m <sup>3</sup>	80	40,692
51m <sup>3</sup> ~80m <sup>3</sup>	5	7,919
81m <sup>3</sup> ~150m <sup>3</sup>	7	11,815
151m <sup>3</sup> ~200m <sup>3</sup>	1	4,053
201m <sup>3</sup> 以上	6	36,240
合 計	1,948	313,823

(2) 合計

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0m <sup>3</sup> ~10m <sup>3</sup>	4,315	213,847
11m <sup>3</sup> ~30m <sup>3</sup>	4,340	1,014,891
31m <sup>3</sup> ~50m <sup>3</sup>	708	354,504
51m <sup>3</sup> ~80m <sup>3</sup>	102	97,929
81m <sup>3</sup> ~150m <sup>3</sup>	49	73,590
151m <sup>3</sup> ~200m <sup>3</sup>	17	32,720
201m <sup>3</sup> 以上	44	467,103
合 計	9,575	2,254,584

7. 年度別件数・使用量・使用料金の推移

(1) 上水道

[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

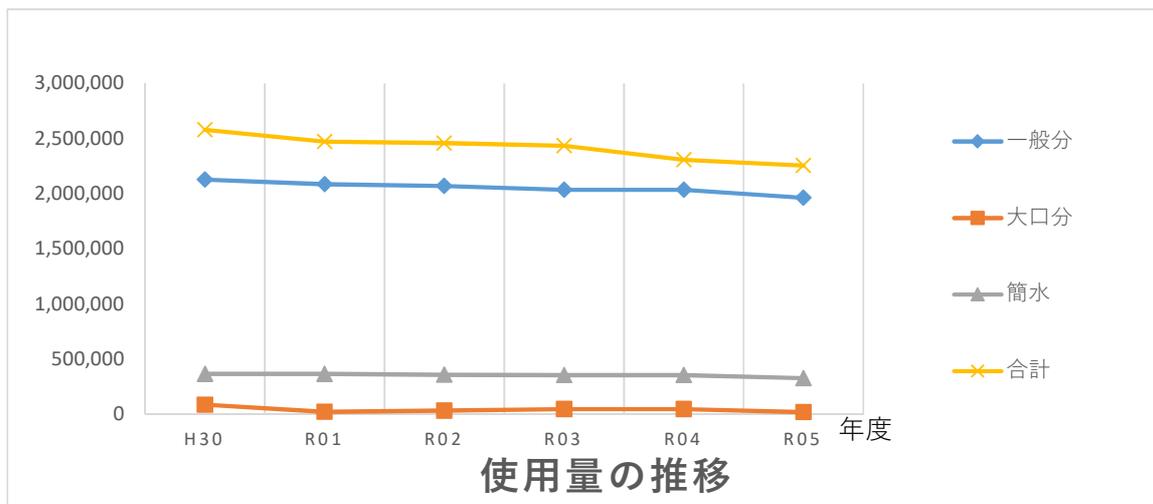
事業		年度	H30	R01	R02	R03	R04	R05
一般分	件数		96,591	95,938	95,309	93,671	92,781	91,985
	使用量		2,126,676	2,084,800	2,068,883	2,035,116	1,962,598	1,937,267
	使用料金		410,282	405,952	373,176	400,760	356,228	383,609
大口分	件数		61	77	36	36	42	11
	使用量		86,149	22,698	32,082	44,788	18,697	3,494
	使用料金		29,258	12,183	14,010	11,539	5,148	2,617
合計	件数		96,652	96,015	95,345	93,707	92,823	91,996
	使用量		2,212,825	2,107,498	2,100,965	2,079,904	1,981,295	1,940,761
	使用料金		439,540	418,135	387,186	412,299	361,376	386,226

(2) 簡易水道

[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

事業		年度	H30	R01	R02	R03	R04	R05
須賀利	件数		2,335	2,335	2,172	2,128	2,034	1,947
	使用量		21,036	21,036	19,485	19,432	17,372	16,654
	使用料金		4,170	4,170	3,229	3,890	2,968	3,428
九鬼	件数		4,145	4,145	3,864	3,696	3,627	3,540
	使用量		46,394	46,394	52,192	54,559	49,758	46,475
	使用料金		9,220	9,220	9,833	11,306	9,086	9,714
早田	件数		1,225	1,225	1,111	1,030	1,009	995
	使用量		12,354	12,354	12,569	11,291	11,288	10,916
	使用料金		2,391	2,391	2,083	2,197	1,895	2,154
三木浦	件数		4,073	4,073	3,871	3,826	3,745	3,766
	使用量		57,609	57,609	55,273	51,942	49,205	46,339
	使用料金		10,040	10,040	8,580	9,225	7,690	8,557
三木里	件数		4,906	4,906	4,692	4,652	4,556	4,498
	使用量		80,224	80,224	83,125	83,977	72,039	71,440
	使用料金		15,909	15,909	15,542	17,464	13,139	14,649
古賀江田	件数		7,812	7,812	7,303	7,062	5,078	6,641
	使用量		112,465	112,465	102,120	100,457	96,643	93,189
	使用料金		21,734	21,734	17,699	19,934	17,147	18,775
曾根	件数		1,288	1,288	1,186	1,139	1,119	1,104
	使用量		18,308	18,308	17,604	16,572	15,469	14,569
	使用料金		3,881	3,881	3,325	3,468	2,888	3,007
梶賀	件数		1,475	1,475	1,411	1,407	1,379	1,371
	使用量		16,531	16,531	15,380	15,128	13,959	14,241
	使用料金		3,210	3,210	2,648	3,057	2,450	2,960
合計	件数		27,259	27,259	25,610	24,940	22,547	23,862
	使用量		364,921	364,921	357,748	353,358	325,733	313,823
	使用料金		70,555	70,555	62,939	70,541	57,263	63,244

使用量(m<sup>3</sup>)



8. 水道料金表

(1) 水道過入金及び器具単価表

口径	量水器加入金
13mm	55,000 円
20mm	99,000 円
25mm	165,000 円
30mm	242,000 円
40mm	440,000 円
50mm	715,000 円
75mm	1,540,000 円

100mm以上は市長がその都度定める

	φ 13mm	φ 20mm
直結止水栓	3,310 円	4,660 円
メーターボックス	3,150 円	4,320 円
	φ 13mm一式	φ 20mm一式
加入金	55,000 円	99,000 円
直結止水栓	3,310 円	4,660 円
メーターボックス	3,150 円	4,320 円
設計審査および 工事検査手数料	3,000 円	3,000 円
合計	64,460 円	110,980 円

設計審査

口径	新設	変更等工事
13~20mm	3,000 円	1,500 円
25~40mm	4,500 円	2,300 円
50mm	6,000 円	3,000 円

※上記価格は消費税(10%)込みの価格となります。

(2) 水道料金一覧表(消費税10%)

2019年10月1日改正

用途	口径	基本料金		従量料金 (円) (1m <sup>3</sup> 当たり)					
		水量	料金(円)	10m <sup>3</sup> 超 ~30m <sup>3</sup> 以下	30m <sup>3</sup> 超 ~50m <sup>3</sup> 以下	50m <sup>3</sup> 超 ~80m <sup>3</sup> 以下	80m <sup>3</sup> 超 ~150m <sup>3</sup> 以下	150m <sup>3</sup> 超 ~200m <sup>3</sup> 以下	200m <sup>3</sup> 超 ~
一般	13mm	10m <sup>3</sup> 以下	1,210.00	187.00	198.00	209.00	236.50	242.00	247.50
	20mm		1,419.00						
	25mm		2,673.00						
	30mm		4,070.00						
	40mm		8,789.00						
	50mm		19,327.00						
	75mm		36,256.00						
	100mm		70,719.00						
	150mm		151,404.00						
	200mm		306,460.00						
	250mm		602,019.00						
臨時		1m <sup>3</sup> 以下	1,032.90	1m <sup>3</sup> 超	442.2				
私設消火栓 (演習用) 1回218.16円 ただし、1回5分間を超えることはできない。									

※【水道料金】 = 【基本料金】 + 【従量料金】 (1円未満の端数は切り捨て)

## 9. 水道料金分析表

### (1) 上水道 [一般分]

年度	月1件当たり使用量	月1件当たり水道料金	月m <sup>3</sup> 当たり水道料金
平成28年度	22.11 m <sup>3</sup>	4,241.14 円	191.82 円
平成29年度	22.22 m <sup>3</sup>	4,265.60 円	191.97 円
平成30年度	22.13 m <sup>3</sup>	4,252.20 円	192.15 円
令和元年度	22.89 m <sup>3</sup>	4,547.65 円	198.62 円
令和2年度	21.73 m <sup>3</sup>	4,231.40 円	194.72 円
令和3年度	21.71 m <sup>3</sup>	3,915.43 円	180.38 円
令和4年度	21.15 m <sup>3</sup>	3,839.45 円	181.51 円
令和5年度	21.06 m <sup>3</sup>	4,170.34 円	198.02 円

### (2) 簡易水道

年度	月1件当たり使用量	月1件当たり水道料金	月m <sup>3</sup> 当たり水道料金
平成28年度	13.14 m <sup>3</sup>	2,533.65 円	194.34 円
平成29年度	13.71 m <sup>3</sup>	2,648.56 円	193.18 円
平成30年度	13.67 m <sup>3</sup>	2,631.75 円	192.52 円
令和元年度	13.39 m <sup>3</sup>	2,588.32 円	193.34 円
令和2年度	13.22 m <sup>3</sup>	2,592.89 円	196.18 円
令和3年度	13.97 m <sup>3</sup>	2,457.59 円	175.93 円
令和3年度	14.45 m <sup>3</sup>	2,539.72 円	175.80 円
令和5年度	13.15 m <sup>3</sup>	2,650.41 円	201.53 円

## 10. 料金徴収方法

	上水道		簡易水道		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
口座振替	5,564	72.95%	1,672	85.83%	7,236	75.57%
クレジット	714	9.36%	60	3.08%	774	8.08%
納付書	1,349	17.69%	216	11.09%	1,565	16.34%
合計	7,627	100.00%	1,948	100.00%	9,575	100.00%

## 11. 検針員及び徴収員の人数

	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根 梶賀	合計
検針	1	1	0	0	0	1	0	1	1	5
徴収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検針兼徴収	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
合計	3	1	0	0	0	1	1	1	1	8

※九鬼地区については、上水担当者が兼務

※早田・三木浦地区については、須賀利担当者が兼務

12. 漏水事故発生件数

		上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀	合計
平成30年度	本管	25	4	0	0	1	0	1	1	2	1	35
	取出	110	7	5	0	4	3	6	14	4	3	156
	送水管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	135	11	5	0	5	3	7	15	6	4	191
令和元年度	本管	23	6	1	0	2	1	0	0	2	0	35
	取出	111	7	8	1	4	1	6	13	5	2	158
	送水管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	134	13	9	1	6	2	6	13	7	2	193
令和02年度	本管	22	6	0	1	1	0	3	6	0	0	39
	取出	133	8	6	2	9	5	10	24	4	7	208
	送水管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	155	14	6	3	10	5	13	30	4	7	247
令和03年度	本管	13	4	2	1	0	2	1	2	1	0	26
	取出	86	7	7	2	4	0	4	8	4	2	124
	送水管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	99	11	9	3	4	2	5	10	5	2	150
令和04年度	本管	24	3	0	0	1	0	2	1	0	2	33
	取出	41	3	0	0	4	5	2	4	4	1	64
	送水管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設											0
	合計	65	6	0	0	5	5	4	5	4	3	97
令和05年度	本管	19	0	0	0	0	1	1	1	0	0	22
	取出	43	5	1	0	2	3	5	10	1	0	70
	送水管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設											0
	合計	62	5	1	0	2	4	6	11	1	0	92

本管：配水管・支管

取出：給水管・止水栓・量水器

13. 給水加入状況

(1) 年度別

[単位：件]

年度 口径	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
φ 13	34	45	28	25	23	24	21	14	24
φ 20	3	6	2	2	2	2	1	0	3
φ 25	3	1	0	1	4	1	0	0	0
φ 30	1	2	0	1	0	1	0	2	0
φ 40	2	1	1	0	1	0	0	0	0
φ 50	0	0	0	1	0	0	0	0	0
φ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	43	55	31	30	30	28	22	16	27

(2) 令和05年度事業別

[単位：件]

年度 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田 古江	曾根	梶賀
φ 13	20	0	2	0	0	0	1	0	1
φ 20	3	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 40	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	23	0	2	0	0	0	1	0	1

口径変更

φ 13→φ 25	1	0	0	0	0	0	0	0	0
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

14. 管路延長

(1) 上水道口径別延長

[単位：m]

口径		年度					
		H30	R01	R02	R03	R04	R05
導水管	300mm未満	172	172	172	172	172	172
	300～500mm未満	132	132	132	132	132	132
	500～1,000未満	85	85	85	85	85	85
	計	389	389	389	389	389	389
送水管	300mm未満	1,120	1,120	1,122	1,120	1,122	1,122
	300～500mm未満	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	1,068
	計	2,160	2,160	2,162	2,160	2,162	2,190
配水管	50mm以下	48,822	48,860	49,049	49,058	49,114	49,129
	75mm	32,133	32,213	32,218	32,068	32,179	31,989
	100mm	25,828	25,760	25,748	25,785	25,786	25,786
	125mm	385	385	385	384	384	384
	150mm	16,369	16,369	16,376	16,376	16,376	16,376
	200mm	3,934	3,934	3,934	3,934	3,934	3,934
	250mm	711	711	711	711	711	711
	300mm	9,225	9,225	9,225	9,225	9,225	9,225
	350mm	729	729	729	729	729	729
	400mm	947	947	947	947	947	947
	450mm	0	0	0	0	0	0
	500mm	267	267	267	267	267	309
	700mm	129	129	129	129	129	135
	800mm	0	0	0	0	0	5
計	139,479	139,529	139,718	139,613	139,781	139,659	
合計		142,028	142,078	142,269	142,162	142,332	142,238

【導水管】 水源から浄水場までの配管

【送水管】 浄水場から配水池までの配管

【配水管】 配水池から各家庭までの配管

## (2) 上水道管種別延長

〔単位：m〕

管種		年度	H30	R01	R02	R03	R04	R05
導水管	ダクタイル鋳鉄管		389	389	389	389	389	389
	計		389	389	389	389	389	389
送水管	ダクタイル鋳鉄管		1,289	1,289	1,290	1,289	1,290	1,289
	鋼管		35	35	35	35	35	35
	硬質塩化ビニル管		350	350	350	350	351	350
	ポリエチレン管		440	440	441	440	440	440
	ステンレス管		46	46	46	46	46	76
	計		2,160	2,160	2,162	2,160	2,162	2,190
配水管	本管	鋳鉄管	1,894	1,894	1,894	1,894	1,894	1,894
		ダクタイル鋳鉄管	20,965	20,922	20,955	20,955	20,913	20,904
		鋼管	6,344	6,167	6,123	5,818	5,497	5,498
		石綿セメント管	0	0	0	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	101,904	101,885	101,738	101,492	93,761	93,498
		ポリエチレン管	8,167	8,456	8,803	9,249	9,725	10,006
		ステンレス管	205	205	205	205	205	266
		その他	0	0	0	0	7,786	7,593
		計	139,479	139,529	139,718	139,613	139,781	139,659
	支管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		鋼管	0	0	0	0	0	0
		石綿セメント管	0	0	0	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	0	0	0	0	0	0
		ポリエチレン管	0	0	0	0	0	0
ステンレス管		0	0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	0	0	
計		139,479	139,529	139,718	139,613	139,781	139,659	
合計			142,028	142,078	142,269	142,162	142,332	142,238

## (3)簡易水道管種別延長

管種		年度							
		須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
導水管	ダクタイル鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鋼管	0	28	33	0	0	0	400	25
	硬質塩化ビニル管	0	0	0	842	0	0	0	0
	ポリエチレン管	0	0	181	0	0	0	0	605
	計	0	28	214	842	0	0	400	630
送水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	0	1,113	0	3,187	519	0	0	0
	硬質塩化ビニル管	0	125	0	0	0	300	0	0
	鋼管	0	738	0	0	0	0	0	0
	計	0	1,976	0	3,187	519	300	0	0
配水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	451	0	1,635	620	2,604	2,128	0	0
	鋼管	0	3,097	0	55	0	3,208	1,591	727
	石綿セメント管	0	0	0	0	0	0	0	0
	硬質塩化ビニル管	1,268	2,782	530	5,188	7,626	9,836	349	641
	コンクリート管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉛管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポリエチレン管	1,217	28	0	604	632	1,004	728	92
	ステンレス管	0	139	0	0	0	30	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,936	6,046	2,165	6,467	10,862	16,206	2,668	1,460	
合 計		2,936	8,050	2,379	10,496	11,381	16,506	3,068	2,090

## (4)管種別延長合計

管種	年度		
	上水	簡易水道	合計
導水管	389	2,114	2,503
送水管	2,162	5,982	8,144
配水管	139,781	48,810	188,591
合計	142,332	56,906	199,238

## IV. 財務状況

### 1. 損益計算書

[単位：千円]

科目		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
収 益	営業収益	441,385	92.87%	382,638	84.74%	410,810	91.56%
	給水収益	438,946	92.36%	380,406	84.24%	408,610	91.07%
	受託工事収益	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計負担金	1,715	0.36%	1,635	0.36%	1,451	0.32%
	その他営業収益	724	0.15%	597	0.13%	749	0.17%
	営業外収益	33,863	7.13%	68,920	15.26%	37,867	8.44%
	受取利息及び配当金	51	0.01%	5	0.00%	0	0.00%
	他会計補助金	3,200	0.67%	38,486	8.52%	3,190	0.71%
	長期前受金戻入	17,060	3.59%	16,143	3.57%	16,306	3.63%
	資本費繰入収益	11,466	2.41%	12,290	2.72%	13,106	2.92%
	雑収益	2,086	0.44%	1,996	0.44%	5,265	1.17%
	合 計	475,248	100.00%	451,558	100%	448,677	100%
費 用	営業費用	408,999	86.87%	434,145	92.21%	431,647	91.68%
	原水及び浄水費	70,685	15.01%	88,738	18.85%	83,571	17.75%
	配水及び給水費	52,339	11.12%	53,962	11.46%	55,947	11.88%
	受託給水工事費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	業務費	40,362	8.57%	45,905	9.75%	47,923	10.18%
	総係費	34,322	7.29%	37,676	8.00%	42,127	8.95%
	減価償却費	207,941	44.16%	206,430	43.84%	200,235	42.53%
	資産減耗費	2,996	0.64%	1,130	0.24%	1,405	0.30%
	その他営業費用	354	0.08%	304	0.06%	439	0.09%
	営業外費用	40,985	9.11%	36,683	7.79%	32,486	7.00%
	支払利息	40,985	9.11%	36,683	7.79%	32,486	7.00%
	繰延勘定償却	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	雑支出	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	合 計	449,984	95.98%	470,828	100.00%	464,133	98.68%
経常利益（損失）	25,264		▲ 19,270		▲ 15,456		
特別利益	0		0		0		
特別損失	116		570,096		344		
純利益（損失）	25,148		▲ 19,840		▲ 15,800		
前年度繰越利益剰余金	300,372		255,520		165,680		
その他未処分利益剰余金変動額	50,339		77,455		80,010		
当年度未処分利益剰余金	375,859		313,135		229,890		

## 2. 貸借対照表

[単位：千円]

科目	年度	令和03年度		令和04年度		令和05年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
資産の部	1. 固定資産	4,825,117	87.47%	4,679,842	88.35%	4,532,428	89.38%
	(1) 有形固定資産	4,819,139	87.37%	4,679,044	88.34%	4,531,630	89.37%
	イ. 土地	806,773	14.63%	806,773	15.23%	806,773	15.91%
	ロ. 建物	399,340	7.24%	387,054	7.31%	374,800	7.39%
	ハ. 構築物	3,031,054	54.96%	2,951,059	55.73%	2,861,527	56.44%
	ニ. 機械及び装置	577,450	10.47%	530,360	10.01%	486,171	9.59%
	ホ. 車両運搬具	936	0.02%	544	0.01%	403	0.01%
	ヘ. 工具器具及び備品	2,086	0.04%	1,427	0.03%	1,207	0.02%
	ト. リース資産	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	建設仮勘定	1,500	0.03%	1,827	0.03%	749	0.01%
	(2) 無形固定資産	5,920	0.11%	740	0.01%	740	0.01%
	イ. 電話加入権	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	ロ. ソフトウェア	5,180	0.09%	0	0.00%	0	0.00%
	(3) 投資その他の資産	58	0.00%	58	0.00%	58	0.00%
	イ. 破産更生債権等	500	0.01%	500	0.01%	500	0.01%
	貸倒引当金	-500	-0.01%	-500	-0.01%	-500	-0.01%
	ロ. その他投資	58	0.00%	58	0.00%	58	0.00%
2. 流動資産	690,838	12.53%	616,557	11.65%	538,160	10.62%	
(1) 現金預金	678,416	12.30%	601,439	11.36%	524,207	10.34%	
(2) 未収金	11,162	0.20%	13,587	0.26%	12,236	0.24%	
貸倒引当金	-113	0.00%	-122	0.00%	-67	0.00%	
(3) 貯蔵品	1,371	0.02%	1,650	0.03%	1,777	0.04%	
(4) その他流動資産	2	0.00%	3	0.00%	7	0.00%	
3. 繰延勘定	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
(1) 開発費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
資産合計	5,515,955	100.00%	5,296,399		5,070,588		
負債の部	4. 固定負債	2,224,616	40.33%	2,034,408	38.41%	1,833,889	36.17%
	(1) 企業債	2,117,227	38.38%	1,924,537	36.34%	1,717,892	33.88%
	(2) 引当金	107,389	1.95%	109,871	2.07%	115,997	2.29%
	イ. 退職給付引当金	26,561	0.48%	29,043	0.55%	35,169	0.69%
	ロ. 修繕引当金	80,828	1.47%	80,828	1.53%	80,828	1.59%
	5. 流動負債	279,745	5.07%	282,569	5.34%	284,011	5.60%
	(1) 企業債	243,457	4.41%	245,590	4.64%	251,545	4.96%
	(2) リース債務	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	(3) 未払金	28,948	0.52%	28,595	0.54%	24,749	0.49%
	(4) 引当金	6,340	0.11%	6,631	0.13%	6,717	0.13%
	イ. 賞与引当金	5,306	0.10%	5,544	0.10%	5,607	0.11%
	ロ. 法定福利費引当金	1,034	0.02%	1,087	0.02%	1,110	0.02%
	(5) その他流動負債	1,000	0.02%	1,753	0.03%	1,000	0.02%
	6. 繰延収益	333,202	6.04%	320,869	6.06%	309,936	6.11%
	(1) 長期前受金	999,629	18.12%	1,003,183	18.94%	1,005,813	19.84%
	(2) 長期前受金収益化累計額	666,427	12.08%	682,314	12.88%	695,877	13.72%
	負債合計	2,837,563	51.44%	2,637,846	49.80%	2,427,836	47.88%

資本の部	7. 資本金	2,034,080	36.88%	2,084,419	39.36%	2,161,874	42.64%
	8. 剰余金	644,312	11.68%	574,133	10.84%	480,878	9.48%
	(1) 資本剰余金	46,820	0.85%	46,820	0.88%	46,820	0.92%
	イ. 工事負担金	6,596	0.12%	6,596	0.12%	6,596	0.13%
	ロ. 国県補助金	17,962	0.33%	17,962	0.34%	17,962	0.35%
	ハ. 他会計補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	ニ. 受贈財産評価額	22,084	0.40%	22,084	0.42%	22,084	0.44%
	ホ. その他資本剰余金	178	0.00%	178	0.00%	178	0.00%
	(2) 利益剰余金	597,492	213.58%	527,313	186.61%	434,058	152.83%
	イ. 減債積立金	145,197	2.63%	137,742	2.60%	127,732	2.52%
	ロ. 建設改良積立金	76,436	1.39%	76,436	1.44%	76,436	1.51%
	ハ. 当年度未処分利益剰余金	375,859	6.81%	313,135	5.91%	229,890	4.53%
	資本合計	2,678,392	48.56%	2,658,552	50.20%	2,642,752	52.12%
	負債資本合計	5,515,955	100.00%	5,296,398	100.00%	5,070,588	100.00%

## 3. 資本の収支

[単位：千円]

科目	年度	令和03年度		令和04年度		令和05年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
収入	出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	給水加入金	1,450	1.99%	1,140	2.01%	1,570	3.12%
	上水給水加入金	1,400	1.92%	1,040	1.83%	1,370	2.73%
	簡易水道給水加入金	50	0.07%	100	0.18%	200	0.40%
	補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	国庫補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計補助金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	負担金	6,123	8.41%	2,669	4.71%	3,804	7.57%
	他会計負担金	6,123	8.41%	2,669	4.71%	3,804	7.57%
企業債	65,200	89.59%	52,900	93.28%	44,900	89.31%	
上水企業債	15,500	21.30%	12,100	21.34%	14,200	28.25%	
簡易水道企業債	49,700	68.29%	40,800	71.95%	30,700	61.07%	
合 計	72,773	100.00%	56,709		50,274		
支出	建設改良費	76,796	24.23%	62,285	20.37%	54,227	18.09%
	固定資産購入費	1,964	0.62%	3,265	1.07%	2,981	0.99%
	機械装置費	1,964	0.62%	3,265	1.07%	2,981	0.99%
	車両運搬具費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	工具器具備品費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	設備購入費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	リース債務支払額	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	上水道施設整備費	17,373	5.48%	15,077	4.93%	15,508	5.17%
	工事請負費	17,373	5.48%	15,077	4.93%	15,508	5.17%
	委託料	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	補償費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	簡易水道施設整備費	57,459	18.13%	43,943	14.37%	35,738	11.92%
	工事請負費	55,209	17.42%	41,043	13.42%	35,738	11.92%
	委託料	2,250	0.71%	2,900	0.95%	0	0.00%
	企業債償還金	240,193	75.77%	243,457	79.63%	245,590	81.91%
上水道企業債償還金	218,940	69.07%	220,698	72.18%	221,338	73.82%	
簡易水道企業債償還金	21,253	6.70%	22,759	7.44%	24,252	8.09%	
補助金返還金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
国庫補助金返還金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	
合 計	316,989		305,742		299,817		
収入 - 支出		△ 244,216		△ 249,033		△ 249,543	
	当年度分損益勘定保留資金	193,877	77.01%	171,577	67.25%	169,534	66.53%
	過年度分損益勘定保留資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	当年度分消費税資本の収支調整額	7,534	2.99%	6,114	2.40%	5,266	2.07%
	減債積立金	50,339	20.00%	77,455	30.36%	80,010	31.40%
	建設改良積立金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	合 計	251,750	100.00%	255,146	100.00%	254,810	100.00%

## 4. 費用構成表【年度別】

[税抜、単位：千円]

科目	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
職員給与費	67,402	14.98%	73,344	15.58%	78,718	16.96%
(1)基本給	38,475	8.55%	40,414	8.58%	41,177	8.87%
(2)手当	16,844	3.74%	12,651	2.69%	19,120	4.12%
(3)賃金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(4)退職給付費	366	0.08%	2,482	0.53%	6,126	1.32%
(5)法定福利費	11,717	2.60%	17,797	3.78%	12,295	2.65%
支払利息	40,985	9.11%	36,683	7.79%	32,486	7.00%
(1)一時借入金利息	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(2)企業債利息	40,985	9.11%	36,683	7.79%	32,486	7.00%
減価償却費	207,941	46.21%	206,430	43.84%	200,235	43.14%
動力費	34,115	7.58%	48,069	10.21%	40,695	8.77%
光熱水費	606	0.13%	730	0.16%	582	0.13%
通信運搬費	4,860	1.08%	4,650	0.99%	5,003	1.08%
修繕費	21,654	4.81%	25,927	5.51%	25,545	5.50%
材料費	5,726	1.27%	6,202	1.32%	7,241	1.56%
薬品費	2,086	0.46%	2,178	0.46%	2,498	0.54%
路面復旧費	2,612	0.58%	2,025	0.43%	2,835	0.61%
委託料	47,207	10.49%	51,749	10.99%	55,221	11.90%
その他	14,790	3.29%	12,840	2.73%	13,072	2.82%
合 計	449,984	100.00%	470,827	100.00%	464,131	100.00%

## 5. 費用構成表

[税抜、単位：千円]

		原水・浄水	配水・給水	業務	総係	その他	合計
基本給	給料	11,005	11,449	0	17,211	0	39,665
	扶養手当	474	498	0	540	0	1,512
手当	時間外手当	515	448	0	139	0	1,102
	特殊勤務手当	0	0	0	0	0	0
	管理職手当	0	0	0	534	0	534
	通勤手当	367	44	0	65	0	476
	住居手当	0	330	0	0	0	330
	期末勤勉手当	4,619	4,814	0	7,245	0	16,678
	児童手当	240	270	0	380	0	890
退職給付費		0	0	0	6,126	0	6,126
法定福利費		3,392	3,589	0	5,314	0	12,295
支払利息		0	0	0	0	32,486	32,486
減価償却費						200,235	200,235
動力費		35,950	4,745	0	0	0	40,695
光熱水費		301	281	0	0	0	582
通信運搬費		3,257	0	1,565	181	0	5,003
修繕費		6,744	13,715	4,975	111	0	25,545
材料費		0	7,241	0	0	0	7,241
薬品費		2,498	0	0	0	0	2,498
路面復旧費		0	2,835	0	0	0	2,835
委託料		11,498	4,741	38,400	582	0	55,221
その他	旅費	0	0	0	8	0	8
	被服費	0	0	0	94	0	94
	備用品費	152	142	9	281	0	584
	燃料費	524	146	0	90	0	760
	印刷製本費	0	0	0	28	0	28
	手数料	1,735	214	2,973	208	0	5,130
	賃借料	0	3	0	2,042	0	2,045
	広告料	0	0	0	32	0	32
	保険料	276	427	0	110	0	813
	公課費	25	17	0	20	0	62
	負担金	0	0	0	606	0	606
	材料売却原価	0	0	0	0	439	439
	研修費	0	0	0	0	0	0
	報酬	0	0	0	178	0	178
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
	報償費	0	0	0	0	0	0
	固定資産除却費	0	0	0	0	1,405	1,405
固定資産撤去費	0	0	0	0	0	0	
その他雑支出	0	0	0	0	0	0	
合計		83,572	55,949	47,922	42,125	234,565	464,133

## 6. 企業債の概要

### (1) 上水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	16	1,932,700,000	47.32%	574,131,610	37.12%
公営企業金融公庫	25	2,151,900,000	52.68%	972,751,812	62.88%
合計	41	4,084,600,000	100.00%	1,546,883,422	100.00%

### (2) 簡易水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	13	182,200,000	81.89%	69,677,478	16.49%
公営企業金融公庫	28	40,300,000	18.11%	352,875,821	83.51%
合計	41	222,500,000	100.00%	422,553,299	100.00%

### (3) 合計

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	29	2,114,900,000	49.10%	643,809,088	32.69%
公営企業金融公庫	53	2,192,200,000	50.90%	1,325,627,633	67.31%
合計	82	4,307,100,000	100.00%	1,969,436,721	100.00%

## V. 経営分析

### 1. 資産及び資本構成比率

項目	算式	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	備考
固定資産 構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	87.00	87.48	88.36	$\frac{4,532,428}{4,532,428 + 538,159 + 0} \times 100 = 89.39$	総資産における固定資産の割合。固定資産の増大は、固定費の増加や資産の固定化をもたらすため、比率は低い方が望ましい。
固定負債 構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	42.14	40.33	38.41	$\frac{1,833,889}{5,070,587} \times 100 = 36.17$	総資本に対する長期負債の割合を表し、経営の長期的安全性を測る指標で、比率は低い方が望ましい。
自己資本 構成比率[%]	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	52.55	54.60	56.25	$\frac{2,161,873 + 480,878 + 0 + 309,936}{5,070,587} \times 100 = 58.23$	総資本に対する自己資本の割合を表す指標で、比率の高い方が経営の安全性は高いと言える。
固定資産対 長期資本比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	91.86	92.15	93.34	$\frac{4,532,428}{2,161,873 + 480,878 + 0} \times 100 = 94.69$	固定資産の調達、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるため、比率は100以下であることが必要。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	165.53	160.22	157.07	$\frac{4,532,428}{2,161,873 + 480,878 + 0 + 309,936} \times 100 = 153.50$	固定資産が自己資本でどの程度賄われているかを示す指標で、比率が低いほど良く、高いと借入金での資金調達を示し財政的不安定を意味する。
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	245.34	246.95	218.20	$\frac{538,159}{284,011} \times 100 = 189.49$	短期債務に対する支払い能力を示す指標。比率は100以上必要で、資金量を示すことから高いほど良い。
酸性試験比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	244.77	246.46	217.61	$\frac{524,207 + (12,236 - 67)}{284,011} \times 100 = 188.86$	流動資産の内現金預金及び現金化されるものによる支払い能力を見る。比率は100以上が適当。
現金比率[%]	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	240.87	242.51	212.85	$\frac{524,207}{284,011} \times 100 = 184.57$	支払い能力を表す指標。比率は100以上が望ましい。

2. 回転率

項目	算式	R02年度	R03年度	R04年度	R04年度	備考
自己資本 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\times 1/2}$	0.16	0.17	0.14	$\frac{410,810 - 0}{2,658,551 + 2,642,751} \times 1/2 = 0.15$	投下した自己資本に対し、どれだけの営業収益が生じているか、すなわち自己資本の活動率を示す。
固定資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\times 1/2}$	0.08	0.09	3.08	$\frac{410,810 - 0}{4,679,841 + 4,532,428} \times 1/2 = 0.09$	固定資産の利用度を示す数値で、高い値ほど固定資産が十分に活用されていることを示す。
流動資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\times 1/2}$	0.55	0.62	0.59	$\frac{410,810 - 0}{616,557 + 538,159} \times 1/2 = 0.71$	一般的には高い値ほど良好であるが、流動資産の過少から高くなるものには、注意が必要である。
未収金 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\times 1/2}$	37.30	38.10	30.92	$\frac{410,810 - 0}{13,587 + 12,236} \times 1/2 = 31.82$	未収金の回収速度を示すもので、高い値ほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示している。
減価償却率[%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$	4.86	4.92	5.06	$\frac{200,235}{4,531,630 + 740 - 806,773 + 200,235} \times 100 = 5.10$	減価償却費が適当か否か及び統一的な償却方法がとられているか否かを示す比率で年度により極端に変動していれば検討を要する。

(注) 自己資本=資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益

3. 損益に関する比率

項目	算式	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	備考
純資本利益率[%]	$\frac{\text{当年度経常利益}}{\text{(期首総資本+期末総資本)} \times 1/2} \times 100$	0.44	0.45	0.00	$\frac{0}{(5,296,398 + 5,070,587)} \times 1/2 \times 100 = 0.00$	投下した資本に対する利益率で、大きい方がよい。
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	105.57	105.59	95.79	$\frac{448,677}{464,477} \times 100 = 96.60$	全体的な経営収支状態を示す比率。100以下は赤字。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	105.61	105.61	95.91	$\frac{448,677}{464,132} \times 100 = 96.67$	経常的な経営収支状態を示す比率。100以下は赤字。
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	100.26	108.14	88.14	$\frac{410,810 - 0}{431,647 - 0} \times 100 = 95.17$	主要事業での経営収支状態を示すもので、大きいほど良く100以下ならば原価に見合った収益確保の必要がある。
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費} - \text{一時借入金} + \text{建設改良の財源に充てるための企業債・長期借入金} + \text{その他の企業債・長期借入金}}{0} \times 100$	1.79	1.74	1.89	$\frac{40,986 + 0}{0 + 1,969,437} \times 100 = 2.08$	負債に対する支払利息の比率、言い換えれば平均利率。
企業債償還元金 対減価償却額比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	110.61	115.51	117.94	$\frac{245,590}{200,235} \times 100 = 122.65$	企業債の発行が経営規模に比べ適正かどうかを示す指標。100以下が望ましい。
企業債償還元金 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	57.31	54.72	64.00	$\frac{245,590}{408,610} \times 100 = 60.10$	企業債発行額が事業規模に適切かを判断する基準で、低いほど良い。
企業債利息 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	11.10	9.34	10.77	$\frac{40,986}{408,610} \times 100 = 10.03$	企業債発行額が事業規模に適切かを判断する基準で低いほど良い。
職員給与費 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	17.44	15.56	19.55	$\frac{75,293}{408,610} \times 100 = 18.43$	人的サービスの占める割合で、当然低い方がよい。比率は30%前後が適当。

4. その他比率

項目	算式	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	備考
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	70.94	72.36	67.72	$\frac{2,254,584}{3,360,830} \times 100 = 67.08$	総配水量のうち、料金収入と違った水量の割合。高率ほど良い。
負荷率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	83.01	84.80	86.49	$\frac{9,208}{9,993} \times 100 = 92.14$	施設が年間を通じて有効に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
施設利用率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	60.96	58.84	59.61	$\frac{9,208}{15,658} \times 100 = 58.81$	施設が年間を通じて有効かつ適切に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	73.05	69.38	68.92	$\frac{9,993}{15,658} \times 100 = 63.82$	100%以上の時は配水能力が最大配水量に不足し、100%を大きく下回る場合は最大給水施設を有していることを示す。
配水管使用効率[m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{配水管総延長}}$	17.44	16.89	17.10	$\frac{3,360,830}{199,238} \times 100 = 16.87$	導送配水管1m当たりの配水量を見て、その効率を測る。量が多いほど使用効率が良い。
給水原価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{総費用} - \text{受託工事費} - \text{材料売却原価} - \text{不用品売却原価} - \text{特別損失} - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	178.58	177.77	196.96	$\frac{464,477,025 - 0 - 344,701 - 438,630 - 16,306,397}{2,254,584} \times 100 = 198.43$	1 mあたりの生産原価
供給単価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	166.43	180.39	164.89	$\frac{408,609,549}{2,254,584} \times 100 = 181.24$	1 mあたりの販売単価
職員一人当り給水人口[人]	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	1,893	1,844	1,613	$\frac{15,701}{10} \times 100 = 1,570$	
職員一人当り給水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	273,190	270,362	130,703	$\frac{2,254,584}{10} \times 100 = 225,458$	職員数を他の事業体と単純に比較するのは難しいので、1人当たりの生産性により比較する。数字は大きいほど生産性が高い。
職員一人当り営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	45,875	49,143	38,264	$\frac{410,810}{10} \times 100 = 41,081$	
職員一人当り有形固定資産[千円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{損益勘定職員数} + \text{資本勘定職員数}}$	549,789	535,460	467,904	$\frac{4,531,630}{10} \times 100 = 453,163$	

## 5. 経営指標一覧表

### (1)事業の概況

項目	算式	R04年度			R05年度
		全国平均	全国同規模	尾鷲市	
普及率[%] (対行政区域内人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内現在人口}} \times 100$	88.21	88.77	99.94	99.92
普及率[%] (対計画給水人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{計画給水人口}} \times 100$	90.37	82.93	59.96	58.37
平均有収水量[l]	$\frac{\text{1日平均有収水量}}{\text{現在給水人口}}$	308	329	392	392
有収水量の用途別内訳[%] (家庭用)	$\frac{\text{1日平均有収水量}(\phi 25 \text{以下})}{\text{1日平均有収水量}(\text{合計})} \times 100$	79.83	75.89	79.21	78.57
有収水量の用途別内訳[%] (工場用)	$\frac{\text{1日平均有収水量}(\text{電力})}{\text{1日平均有収水量}(\text{合計})} \times 100$	5.89	8.03	0.03	0.02
有収水量の用途別内訳[%] (その他)	$\frac{\text{1日平均有収水量}(\text{その他})}{\text{1日平均有収水量}(\text{合計})} \times 100$	14.28	16.08	20.76	21.41

### (2)収益性に関する項目

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	110.00	107.52	95.79	96.60	収益性をみる際の最も代表的な指標。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	109.63	107.91	95.91	96.67	
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	93.54	90.12	88.14	95.17	収益性を見るための指標。比率が高いほど利益率がよい。
自己資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	0.044	0.098	0.160	0.174	自己資本に対する営業収益の割合。比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発。
総資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2}$	0.031	0.067	0.071	0.079	総資本に対する営業収益の割合
固定資産回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	0.035	0.078	0.081	0.089	固定資産に対する営業収益の割合。高いほど施設が有効に稼働している。
未収金回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	4.838	7.324	30.92	31.82	未収金の回収速度を示す指標。高い程よい。
総資本利益率[%]	$\frac{\text{経常利益} - \text{経常損失}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2} \times 100$	0.34	0.62	-0.36	-0.30	総資本の収益性を表す指標。高い程総合的な収益性が高い。

※ 自己資本=自己資本金+剰余金

## (3)資産の状態に関する項目

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
企業債償還金 対減価償却費比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}} \times 100$	84.48	91.58	117.94	122.65	投下資本の回収と再投資とのバランスを見る指標。
有形固定資産 減価償却率[%]	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産帳簿原価}} \times 100$	50.81	52.43	55.63	55.34	償却資産における減価償却済の割合を示す比率。
当年度減価償却率[%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{現有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	4.21	4.36	5.06	5.10	償却対象固定資産に対する平均償却率である。

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
有収水量1㎡あたり						
有形固定資産[円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	1,888.85	1,965.86	2,028.17	2,009.96	
無形固定資産[円]	$\frac{\text{無形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	17.37	27.71	0.32	0.33	
資産合計[円]	$\frac{\text{資産合計}}{\text{年間総有収水量}}$	2,195.10	2,347.85	2,295.77	2,249.01	
負債合計[円]	$\frac{\text{負債合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,124.01	1,230.01	1,143.40	1,076.84	
資本合計[円]	$\frac{\text{資本合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,071.09	1,117.84	1,152.37	1,172.17	
資本金[円]	$\frac{\text{資本金}}{\text{年間総有収水量}}$	837.71	832.27	940.66	873.53	
利益剰余金[円]	$\frac{\text{利益剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	178.20	228.82	228.57	192.52	
資本剰余金[円]	$\frac{\text{資本剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	55.16	56.75	20.29	20.77	
企業債現在高[円]	$\frac{\text{企業債}}{\text{年間総有収水量}}$	620.64	683.61	940.66	873.53	

## (4)財務比率に関する項目

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	313.48	358.27	218.20	189.49	短期債務に対する支払い能力を表している。100%以上であることが必要。
当座比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	302.60	352.30	217.65	188.88	短期債務に対する支払能力を表す比率。
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2} \times 100$	0.238	0.465	0.585	0.712	流動資産の経営活動における回転度を表す。
自己資本構成比率[%]	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	69.21	68.83	50.20	52.12	総資本に占める自己資本の割合。高いほど経営の安全性が高い。
固定資産構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	87.73	85.64	88.36	89.39	資産合計中の固定資産の割合を表す。低い方が柔軟な経営が可能となる。
固定資産対長期資本比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	91.30	89.22	99.72	101.25	事業の固定的・長期的安全性をみる指標。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	126.75	124.43	176.03	171.50	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。
固定負債構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債} + \text{流動負債} (\text{建設改良の財源に充てるための企業債})}{\text{負債資本合計}} \times 100$	26.87	27.16	43.05	41.13	他人資本依存度を示す指標。

## (5)施設の効率性に関する項目

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
施設利用率[%]	$\frac{1 \text{ 日 平均 配 水 量}}{1 \text{ 日 配 水 能 力}} \times 100$	60.12	55.23	59.61	58.81	施設の利用状況を総合的に判断する為の指標。
最大稼働率[%]	$\frac{1 \text{ 日 最 大 配 水 量}}{1 \text{ 日 配 水 能 力}} \times 100$	73.91	72.65	68.92	63.82	1日配水能力に対する1日最大配水量。
負荷率[%]	$\frac{1 \text{ 日 平 均 配 水 量}}{1 \text{ 日 最 大 配 水 量}} \times 100$	81.33	76.03	86.49	92.14	施設が有効に使用されているかどうかをみる指標。 高いほど良い。
有収率[%]	$\frac{\text{年 間 総 有 収 水 量}}{\text{年 間 総 配 水 量}} \times 100$	83.39	78.58	67.72	67.08	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかについての比率。
固定資産使用効率 [m <sup>3</sup> /万円]	$\frac{\text{年 間 配 水 量}}{\text{有 形 固 定 資 産}} \times 100$	6.35	6.47	6.98	6.98	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。 高いほど施設が効率的である。
配水管100m当たり 給水人口[人]	$\frac{\text{現 在 給 水 人 口}}{\text{配 水 管 延 長}} \times 100$	11.00	8.00	8.10	7.88	施設の有効性を示す指標。
配水管使用効率[m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年 間 総 配 水 量}}{\text{導 送 配 水 管 延 長}} \times 100$	13.83	11.01	17.11	16.87	施設の効率性を示す指標。

## (6)生産性に関する項目

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
職員1人あたり						
給水人口[人]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	3,288	2,725	1,613	1,570	職員1人あたりの生産性について把握するための指標。大きいほど良い。
有収水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{無形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	369,571	327,183	230,703	225,458	
営業収益[千円]	$\frac{\text{資産合計}}{\text{年間総有収水量}}$	58,466	51,469	38,264	41,081	
給水収益[千円]	$\frac{\text{負債合計}}{\text{年間総有収水量}}$	56,495	49,847	38,041	40,861	
職員給与費 対営業収益比率[%]	$\frac{\text{資本合計}}{\text{年間総有収水量}}$	11.18	12.01	19.43	19.38	営業収益に対する職員給与費の割合。
有収水量1万m <sup>3</sup> /1日当たり 損益勘定職員数[人]	$\frac{\text{資本金}}{\text{年間総有収水量}}$	10.00	11.00	15.82	16.19	適正な職員数と配置がされているかどうかを把握するための指標。

## (7)料金に関する項目

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
給水原価[円]	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{付帯工事費}-\text{材料売却原価}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	157.61	160.98	196.96	198.43	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価
供給単価[円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	152.87	152.35	164.89	181.24	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価
料金回収率[%]	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	96.99	94.64	83.72	91.33	100%を下回る場合、給水に係る費用が水道料金以外で賄われていることを示す。
1ヶ月10m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金[円]		1,495	1,448	1,210	1,210	消費税率10%込
1ヶ月20m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金[円]		3,070	2,989	3,080	3,080	消費税率10%込

## (8)費用に関する項目

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
費用構成比						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{費用合計}} \times 100$	9.91	10.22	15.81	17.16	
支払利息[%]	$\frac{\text{支払利息費}}{\text{費用合計}} \times 100$	4.75	5.16	7.80	7.00	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{費用合計}} \times 100$	44.14	46.70	43.90	43.17	
動力費[%]	$\frac{\text{動力費}}{\text{費用合計}} \times 100$	8.26	9.87	10.22	8.77	
光熱水費[%]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.23	0.13	0.16	0.13	
通信運搬費[%]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.62	0.70	0.99	1.08	
修繕費[%]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.74	6.16	5.51	5.51	
材料費[%]	$\frac{\text{材料費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.32	0.31	1.32	1.56	
薬品費[%]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.54	0.47	0.46	0.54	
路面復旧費[%]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.29	0.21	0.43	0.61	
委託料[%]	$\frac{\text{委託料}}{\text{費用合計}} \times 100$	12.23	10.85	11.00	11.91	
負担金[%]	$\frac{\text{負担金}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.49	0.53	0.00	0.00	
受水費[%]	$\frac{\text{受水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	7.38	3.36	0.00	0.00	
その他[%]	$\frac{\text{その他費}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.09	5.34	2.51	2.59	

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
給水収益中						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{費用合計}} \times 100$	11.57	12.40	19.55	17.16	給水収益と比較した場合の各費用の比率を示した指標。
企業債利息[%]	$\frac{\text{企業債利息費}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.54	6.25	9.64	7.00	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{費用合計}} \times 100$	51.54	56.65	54.27	43.17	
企業債償還元金[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{費用合計}} \times 100$	32.00	37.56	64.00	52.95	

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
有収水量1㎡あたり						
職員給与費[円]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	17.69	18.89	32.23	35.31	
基本給[円]	$\frac{\text{基本給}}{\text{年間総有収水量}}$	9.28	10.04	16.79	17.59	
手当[円]	$\frac{\text{手当}}{\text{年間総有収水量}}$	4.48	4.80	6.65	6.81	
報酬[円]	$\frac{\text{報酬}}{\text{年間総有収水量}}$	0.29	0.44	0.00	0.08	
退職給付費[円]	$\frac{\text{退職給付費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.66	0.37	1.08	1.10	
法定福利費[円]	$\frac{\text{法定福利費}}{\text{年間総有収水量}}$	2.98	3.24	7.71	7.89	
支払利息[円]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{年間総有収水量}}$	8.47	9.53	15.90	14.41	
減価償却費[円]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	78.79	86.31	89.48	88.81	
動力費[円]	$\frac{\text{動力費}}{\text{年間総有収水量}}$	14.74	18.23	20.84	18.05	
光熱水費[円]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.41	0.24	0.32	0.26	
通信運搬費[円]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{年間総有収水量}}$	1.11	1.30	2.02	2.22	
修繕費[円]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{年間総有収水量}}$	10.25	11.38	11.24	11.33	
材料費[円]	$\frac{\text{材料費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.58	0.57	2.69	3.21	
薬品費[円]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.96	0.87	0.94	1.11	
路面復旧費[円]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.52	0.38	0.88	1.26	
委託料[円]	$\frac{\text{委託料}}{\text{年間総有収水量}}$	21.83	20.05	22.43	24.49	
受水費[円]	$\frac{\text{受水費}}{\text{年間総有収水量}}$	13.18	0.98	0.00	0.00	
その他[円]	$\frac{\text{その他}}{\text{年間総有収水量}}$	9.08	6.21	5.12	5.32	
費用合計[円]	$\frac{\text{費用合計}}{\text{年間総有収水量}}$	178.49	184.81	203.84	205.71	
資本費[円]	$\frac{\text{企業債利息}+\text{減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	72.65	75.20	105.38	103.22	
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{企業債}+\text{一時借入金}+\text{建設改良の財源に充てるための企業債}}$	1.36	1.39	0.02	0.02	外部利子の平均利率を示す。

(9)繰入金の状況に関する項目

項目	算式	R04年度			R05年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
繰入金比率[%] (収益的収入分)	$\frac{\text{繰入金(収益的収入分)}}{\text{総収益}} \times 100$	4.79	5.51	8.89	1.03	収入における繰入金依存度を分析する比率。
繰入金比率[%] (資本的収入分)	$\frac{\text{繰入金(資本的収入分)}}{\text{資本的収入計}} \times 100$	17.43	25.82	4.71	6.71	

## VI. 施設概要

### 1. 水源施設数

(1)水源施設（送水・消毒設備 11箇所）

矢ノ浜・須賀利・九鬼・早田・三木浦第1・三木浦第2・三木里  
 賀田第1(北)・賀田第1(南)・曾根・梶賀

### (2)取水施設

取水施設名		水源名	箇所数	
上水道	矢ノ浜	地下水(浅層井戸)	3	
		1号井・5号井・6号井		
		矢ノ川伏流水 1号井・2号井	2	
簡易水道	須賀利	地下水(浅井戸) 1号井・2号井	2	
	九鬼	滝ノ頭川表流水	1	
	早田	大川表流水	1	
	三木浦	第1	三木谷川表流水	1
		第2	浦越川表流水	1
	三木里	八十川伏流水 1号井	1	
	賀田第1	北	地下水(浅井戸) 1号井	1
		南	地下水(浅井戸) 1号井	1
	曾根	逢神川表流水	1	
	梶賀	梶賀川表流水	1	
合計			16	

2. 各施設ポンプ能力(50台)

区分	施設名	用途	口径φ	毎分流量	24時間流量	全揚程	出力	台数
			(mm)	(m <sup>3</sup> )	1日最大(m <sup>3</sup> )	(m)	(kW)	(台)
上水道	矢ノ浜浄水場	送水	250	7.00	10,080	79.0	132.0	2
		配水	200	5.60	8,064	59.0	90.0	3
		取水	100	2.78	4,003	22.0	18.5	2
		取水	200	4.17	6,004	20.0	30.0	2
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	100	1.60	2,304	25.0	11.0	1
		取水	80	0.50	720	26.0	5.5	1
		ろ過	200	5.00	7,200	18.0	30.0	1
	馬越	送水	80	0.40	576	112.0	18.5	2
	送水ポンプ場	配水	100	0.80	1,152	67.0	18.5	2
	泉	送水	100	1.10	1,584	55.0	18.5	2
	加圧ポンプ場	配水	80	0.50	720	65.0	11.0	2
簡易水道	須賀利浄水場	配水	80	0.80	1,152	72.0	15.0	2
		取水	50	0.38	540	15.0	1.5	4
	三木浦第1 浄水場	送水	80	1.10	1,584	47.0	15	2
		送水	50	0.32	454	72.0	7.5	2
	三木浦第2 浄水場	逆洗	100	1.10	1,584	19.5	5.5	2
	三木里浄水場	送水	100	0.92	1,325	75.0	22.00	2
		取水	80	0.50	720	10.0	5.5	2
	賀田第1(北) 浄水場	送水	100	1.000	1,440	60.0	18.5	2
		送水	80	0.50	720	87.0	15.00	2
	賀田第1(南) 浄水場	取水	65	0.50	720	11.0	2.2	2
		逆洗	150	3.00	4,320	10.0	11.00	2
	賀田第2 加圧ポンプ場	配水	100	0.97	1,397	60.0	18.5	2
		配水	80	0.70	1,008	63.0	15.00	2
	古江加圧 ポンプ場	配水	40	0.22	317	—	2.2	1
		配水	40	0.22	317	—	2.2	1

3. 電力使用量【矢ノ浜浄水場：年度別】 [単位:kWh]

年度 月	H30	R01	R02	R03	R04	R05
4月	134,648	128,797	124,699	131,745	119,492	121,969
5月	130,565	134,559	205,965	124,092	123,266	120,784
6月	132,250	136,927	134,821	134,334	120,258	130,111
7月	141,487	133,538	130,750	123,493	123,500	131,129
8月	151,819	146,038	138,813	131,178	126,438	140,987
9月	150,215	134,990	140,597	131,769	133,278	140,454
10月	141,962	129,195	125,916	124,310	135,163	128,377
11月	130,202	135,714	127,447	123,149	123,264	125,862
12月	125,992	126,565	120,112	111,947	123,925	126,945
1月	136,089	134,886	129,638	118,737	132,033	135,749
2月	133,798	126,458	124,927	117,311	124,622	142,448
3月	125,066	115,591	112,598	106,162	118,171	138,652
合計	1,634,093	1,583,258	1,616,283	1,478,227	1,503,410	1,583,467

4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表

区分	施設名	名称	容量[m <sup>3</sup> ]
上水道	矢ノ浜浄水場	配水池1号	3,322
		配水池2号	2,512
	桂山配水池	配水池	5,750
	泉加圧ポンプ場	ポンプ井	140
	光ヶ丘送水ポンプ場	ポンプ井	58
	光ヶ丘配水池	配水池	1,000
	馬越送水ポンプ場	ポンプ井	122
	馬越配水池	配水池	107
	向井加圧ポンプ場	ポンプ井	102
簡易水道	須賀利浄水場	ポンプ井	303
	九鬼浄水場	配水池	279
	早田浄水場	配水池	64
	三木浦第1浄水場	ポンプ井	82
	三木浦第2浄水場	ポンプ井	82
	三木浦配水池	配水池	450
	三木里浄水場	ポンプ井	104
	三木里配水池	配水池	375
	賀田配水池	配水池	246
	賀田第1(南)浄水場	ポンプ井	65
	賀田第2加圧ポンプ場	ポンプ井	350
	古江加圧ポンプ場	ポンプ井	216
	曾根浄水場	配水池	100
	梶賀浄水場	配水池	39

## 5. 施設所在地

施設名	所在地
矢ノ浜浄水場	尾鷲市矢浜四丁目4番8号
桂山配水池	尾鷲市大字南浦矢ノ浜上ノ山1917-32
馬越送水ポンプ場	尾鷲市北浦西町1508
馬越配水池	尾鷲市馬越町3838
泉加圧ポンプ場	尾鷲市古戸野町4-18
光ヶ丘送水ポンプ場	尾鷲市光ヶ丘13-31
光ヶ丘配水池	尾鷲市大字南浦1836-2
向井加圧ポンプ場	尾鷲市大字向井195-4、195-5
須賀利浄水場	尾鷲市須賀利町505-1
九鬼浄水場	尾鷲市九鬼町305
早田浄水場	尾鷲市早田町252-1
三木浦第1浄水場	尾鷲市三木浦町53
三木浦第2浄水場	尾鷲市早田町351-6
三木浦配水池	尾鷲市三木浦町303-20
三木里浄水場	尾鷲市三木里町1123
三木里配水池	尾鷲市三木里町902-3
賀田第1(北)浄水場	尾鷲市賀田町972-180
賀田第1(南)浄水場	尾鷲市賀田町970-3
賀田第2加圧ポンプ場	尾鷲市賀田町318-36
古江加圧ポンプ場	尾鷲市古江町670-21
賀田配水池	尾鷲市賀田町1008-2
曾根浄水場	尾鷲市曾根町376-3
曾根加圧ポンプ場	尾鷲市曾根町520-2
梶賀浄水場	尾鷲市梶賀町寺ノ上149

## VII. 設 備

### 1. 上水道

#### (1) 矢ノ浜浄水場

##### 【No.1】

公 称 能 力	14,500m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経 歴	1966年(昭和41年)竣工 2007年度(平成19年度) 新矢ノ浜浄水場築造 2012年度(平成24年度) 伏流水1号井取水ポンプ取替 2013年度(平成25年度) 伏流水2号井取水ポンプ取替 2023年度(令和5年度) 非常用発電機 蓄電設備、セルモータ取替		
配 水 池	1号配水池 PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ23.0m×有効8.0m Ve=3,322m <sup>3</sup>		1池
	2号配水池 PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ20.0m×有効8.0m Ve=2,512m <sup>3</sup>		1池
送 水 ポ ン プ	送水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備1台) φ250mm×φ150mm×7.0m <sup>3</sup> /min×79m×132kw		2台
	配水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備2台) φ200mm×φ150mm×5.6m <sup>3</sup> /min×59m×90kw		3台
取 水 ポ ン プ	伏流水1号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ100mm×2.78m <sup>3</sup> /min×22m×18.5kw		2台
	伏流水2号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ200mm×4.17m <sup>3</sup> /min×20m×30kw		2台
	浅層地下水1号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ80mm×0.5m <sup>3</sup> /min×20m×5.5kw		1台
	浅層地下水5号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ100mm×1.6m <sup>3</sup> /min×25m×11kw		1台
	浅層地下水6号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ80mm×0.5m <sup>3</sup> /min×26m×5.5kw		1台
ろ 過 ポ ン プ	ろ過機水中ポンプ 水中渦巻ポンプ φ200mm×5.0m <sup>3</sup> /min×18m×30kw		1台
消 毒 設 備	薬 注 ポ ン プ	定量比例注入ポンプ 1・2号 30ml/min 1.0MPa	2台
		定量比例注入ポンプ 3号 (内予備1台) 60ml/min 1.0MPa	2台
		定量比例注入ポンプ 4号 (内予備1台) 60ml/min 1.0MPa	2台
		次亜塩素酸ソーダ貯槽 φ1.3m H=1.62m 素材 ポリエチレン Ve=1.5m <sup>3</sup>	2台

【No.2】

ポンプ井 (着水井)	伏流水1号井 楕円形RC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ8.0m×H9.0m		1井	
	伏流水2号井 長方形RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W6.0m×L12.5m×H7.0m		1井	
	浅層地下水1号井 SPφ600mm×H15m		1井	
	浅層地下水5号井 SPφ400mm×H15m		1井	
	浅層地下水6号井 SPφ600mm×H15m		1井	
集水管	集水埋管伏流水1号 有孔HPφ700mm~L=150m		1式	
	集水埋管伏流水2号 有孔HPφ1,500mm~L=243m		1式	
ポンプ井 (ろ過)	ろ過ポンプ井 RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W4.0m×L5.0m×深さ4.0m		1井	
契約電力	高压電力B 515A・kw 力率97%			
受変電設備	高压変圧器 6.6kv/420 500kVA		2台	
ろ過器	ろ過器 動式密閉型 1池当り4分割 ろ過速度120m/日		1台	
電気計装設備	流量計	1号井取水流量計 φ300mm 0~450m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		5・6号井取水流量計 φ300mm 0~450m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		伏流水1号井取水流量計 φ400mm 0~1,000m <sup>3</sup> /h 超音波式	1台	
		伏流水2号井取水流量計 φ500mm 0~1,000m <sup>3</sup> /h 水中型超音波式	1台	
		送水流量計 φ250mm 0~800m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
		配水流量計 φ300mm 0~800m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
	水位計	投込式	0~10m配水池用	2台
			浅井戸用	4台
		自動通報装置付中央監視装置		1台
		テレメーター親局		1式
自家発電設備	ガスタービン式発電機 発電機 3φ3w 500kVA 6600V 4極 ガスタービン 単純開放サークル1軸式 441kw		1台	
	燃料タンク	A重油1種1号 1,500ℓ	1台	
	地下タンク	A重油1種1号 7,000ℓ	1台	

## (2)桂山配水池

公称能力	5,750m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	1966年(昭和41年) 竣工 2004年度(平成16年度) 送水ポンプ取替 2007年度(平成19年度) 緊急遮断弁設置 2013年度(平成25年度) 桂山配水池築造 2014年度(平成26年度) 減圧弁設置	
配水池	配水池 ステンレス製角型 内法W23.0m×L25.5m×有効10.58m=約2,875m <sup>3</sup> Ve=2,875m <sup>3</sup> ×2池=5,750m <sup>3</sup>	2池
契約電力	従量電灯B 60A・kw	
電気設備	水位計 投込式液面発信器 0~10m	2台
	無停電電源装置	1台
	直流電源装置	1台
	緊急遮断弁 マークリング型緊急遮断弁ウェイト式 油圧分離型 [震度・流量併用感知方式] 内面エポキシ樹脂粉体塗装	
	φ300 バタフライ式 弁箱肉厚13mm	1台
	φ150 バタフライ式 弁箱肉厚15mm	1台
	地震監視装置(地震ウォッチャー) 型式: SW-74	1台
テレメーターSAS55子局	1台	

## (3)馬越送水ポンプ場

公称能力	576m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	2000年度 (平成12年度) 送水・配水池機械電気設備	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W4.15m×L4.0m=16.6m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.4m <sup>3</sup> /min×112m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W4.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=70m <sup>3</sup>	1池
	内法W3.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=52.5m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 26A・kw 力率90% 従量電灯B 15A・kw	
電気設備	水位指示警報計 配水池水位計 0~3m DC1~5v	1台
	積算カウンター 配水池流量 8桁	1台
	2 <sup>ch</sup> 記録計 水位・配水量	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 14.5ml/min 1.0MPa ストローク数23s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	1台
自家発電設備	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 40ℓ	1台

## (4)馬越配水池

公称能力	107m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	2000年度 (平成12年度) 馬越配水池改良	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W6.2×L3.5×有効3.0=65.1m <sup>3</sup>	1池
	内法W6.2×L3.5×有効1.9=42.23m <sup>3</sup> Ve=65.1m <sup>3</sup> +42.23m <sup>3</sup> =107.3m <sup>3</sup>	1池

## (5)泉加圧ポンプ場

公 称 能 力	1,152m <sup>3</sup> /日 (最大流量)		
経 歴	1975年度 (昭和50年度) 竣工 2015年度 (平成27年度) 1号加圧ポンプ取替 2018年度 (平成30年度) 2号加圧ポンプ取替		
ポ ン プ 室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W10.6m×L8.6m=90m <sup>2</sup>		1室
加 圧 ポ ン プ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) φ100×0.8m <sup>3</sup> /min×67m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)		2台
ポ ン プ 井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W10.6m×L8.6m×有効1.5m Ve=140m <sup>3</sup>		1池
契 約 電 力	低圧電力 22A・kw 力率90% 従量電灯B 15A・kw		
電 気 設 備	コンプレッサー		1台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ2.6m×L5.18m Ve=30.8m <sup>3</sup> 最高使用圧力6kg/cm <sup>2</sup> 銅板16mm 鏡板22mm		1台
	水 位 計	フロート液面発信機(FNF型)	1台
		デジタル指示警報計 0~5m	1台
	配水圧力 デジタル指示警報計 0~10kg/cm <sup>2</sup>		1台
	直流電源装置		1台
エ ン ジ ン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式		1台
	燃料タンク 40ℓ		1台

## (6)光ヶ丘送水ポンプ場

公称能力	1,584m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	1985年度 (昭和60年度) 電気・計装改築 2006年度 (平成18年度) 送水ポンプ取替(防振架台)	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W5.1m×L5.7m=29m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ(防振架台) φ100×1.1m <sup>3</sup> /min×55m×18.5kw 1,735rpm(内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W5.7m×L5.1m×有効2.0m Ve=58.1m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	配水流量計	1台
消毒設備	薬注ポンプ 薬液定量ポンプ34cc/min 15MPa ストローク長3m/m	2台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台

## (7)光ヶ丘配水池

公称能力	1,000m <sup>3</sup> (貯水量)	
経歴	1986年 (昭和61年) 竣工 2005年度 (平成17年度) 緊急遮断弁オーバーホール	
配水池	PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ16.0m×有効5.0m Ve=1,000m <sup>3</sup>	1池
契約電力	従量電灯B 15A・kw	
電気設備	緊急遮断弁 マークリング型緊急遮断弁(分離型) 震度感知方式 口径φ200mmバタフライ形式 面間300mm 弁箱の肉厚13mm 右回し開き 使用最高圧力0.45MPa	1台
	水位計	1台

## (8)向井加圧ポンプ場

公称能力	720m <sup>3</sup> /日 (最大流量)		
経歴	1976年度 (昭和51年度) 竣工		
	2005年度 (平成17年度) 電気制御盤更新		
	2017年度 (平成29年度) 加圧ポンプ他取替		
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W4.55m×L7.45m=34m <sup>2</sup>		1室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ φ80×0.5m <sup>3</sup> /min×65m×11kw 1,800rpm (内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W4.55m×L7.45m×有効3.0m Ve=102m <sup>3</sup>		1池
契約電力	低圧電力 14A・kw 力率80% 従量電灯B 20A・kw		
電気設備	コンプレッサー 1.5kw オイルフリー		1台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ1.9m×L4.6m Ve=14.3m <sup>3</sup>		1台
	最高使用圧5kg/cm <sup>2</sup> 胴板12mm 鏡板12mm		
	水位計	投込式	1台
		水位指示計 0~4m	1台
直流電源装置		1台	
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式		1台
	燃料タンク 100ℓ		1台

2. 簡易水道

(1)須賀利浄水場

公称能力	297m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1981年度 (昭和56年度) 竣工		
	2005年度 (平成17年度) 電波発信型水位計更新		
	2009年度 (平成21年度) 取水ポンプ取替		
	2010年度 (平成22年度) 電気計装盤更新		
	2019年度 (令和元年度) 加圧ポンプ取替		
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=48m <sup>2</sup>		1室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ φ80×0.8m <sup>3</sup> /min×72m×15kw 1,800rpm(内予備1台)		2台
取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ50×0.375m <sup>3</sup> /min×15m×1.5kw 3,400rpm		4台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W11.9m×L10.9m×有効2.5m Ve=303m <sup>3</sup>		1池
取水井	RC造り	1号井 内法φ3.0m×深さ6.0m	1井
	(鉄筋コンクリート造)	2号井 内法φ1.2m×深さ6.2m	1井
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯B 30A・kw		
電気設備	水位計 電波発信型水位計		1台
	流量計 電磁流量計		1台
	加圧タンク 圧力水槽(横置円筒型) 胴の最大内径1.2m~1.6m 9.5kg/cm <sup>2</sup> 内容積2.15m <sup>3</sup>		1台
	自動給水装置 最大800ℓ/min 起動圧力選定範囲5.1~6.8kg/m <sup>2</sup>		1台
	自動通報装置		1台
	直流電源装置		1台
	テレメーターSAS55子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ		1台
	定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m 次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 50KVA		1台
	燃料タンク 200ℓ		1台

(2)九鬼浄水場

公称能力	495m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1982年度 (昭和57年度) 急速ろ過器設備		
	2007年度 (平成19年度) 急速ろ過器自動逆洗化工事		
ろ過器	急速ろ過器 RSF型ろ過器4型 20m <sup>3</sup> /h		1台
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W13.7m×L3.4m×有効3.0m=139.7m <sup>3</sup> Ve=139.7m <sup>3</sup> ×2池=279.4m <sup>3</sup>		2池
契約電力	従量電灯B 30A・kw		
電気設備	自動通報装置		1台
	テレメーターSAS15子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (3)早田浄水場

公称能力	81m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1992年度 (平成4年度) 電気計装設備 2005年度 (平成17年度) 水中型電磁流量計更新 2009年度 (平成21年度) 投込式水位計取付工事		
ろ過池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 緩速ろ過 W5.9m×L4.0m×H2.6m H2.6m内→ろ過砂0.8m小砂0.1m 中砂0.1m大砂0.15m 真空有孔レガ、空洞ブロック0.25m		2池
沈殿槽	RC造り(鉄筋コンクリート造) 普通沈殿池		2池
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W4.0m×L3.5m×有効2.3m=32.2m <sup>3</sup> Ve=32.2m <sup>3</sup> ×2池=64.4m <sup>3</sup>		2池
契約電力	従量電灯B 40A・kw		
電気設備	配水流量計	水中型電磁流量計	1台
		デジタル積算計	1台
	テレメーターSAS15子局		1台
	投込式 水位計		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (4)三木浦第1浄水場

公称能力	326m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1981年度 (昭和56年度) 竣工 2018年度 (平成30年度) 送水ポンプ取替		
計装 (滅菌室)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=3.75m×2m=7.5m <sup>2</sup>		1室
送水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.1m <sup>3</sup> /min×47m×15kw 3,600rpm (内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造)		1池
契約電力	低圧電力 18A・kw 力率80% 従量電灯B 15A・kw		
電気設備	自動通報装置		1台
	テレメーターSAS15子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (5)三木浦第2浄水場

公称能力	326m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1988年度 (昭和63年度) 竣工		
	2007年度 (平成19年度) 送水ポンプ取替		
	2014年度 (平成26年度) 非常用発電機取替		
	2022年度 (令和4年度) 配水池テレメータ取替		
	2023年度 (令和5年度) 逆洗ポンプ取替		
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W9.0m×L5.5m=49.5m <sup>2</sup>		1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ50×0.315m <sup>3</sup> /min×72m×7.5kw		2台
	1,730rpm (内予備1台)		
逆洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ100×1.10m <sup>3</sup> /min×19.5m×5.5kw		2台
	1,730rpm (内予備1台)		
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造)		1池
	内法W6.5m×L5.5m×有効2.3m Ve=82.2m <sup>3</sup>		
契約電力	低圧電力 16A・kw 力率90% 従量電灯B 50A・kw		
ろ過器	横型凝集沈殿装置 10m <sup>3</sup> /h		2台
電気設備	SASIOテレメータテレコントロール装置 親局		1台
	ろ過器 急速ろ過器 10m <sup>3</sup> /h		2台
	表面散乱形濁度計W301+WA203+WLS30T		1台
	無試薬遊離塩素計(パイプスタンド形)ZXM		1台
	流量計		1台
	テレメーターSAS55子局		1台
消毒設備	次亜塩素素注入ポンプ 定量注入ポンプ		2台
	PAC注入ポンプ 定量注入ポンプ		2台
	ソーダ灰注入ポンプ 定量注入ポンプ		2台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 YT-200		2台
	PAC貯槽 YT-200		2台
	ソーダ灰貯槽 YT-200攪拌機付PG-1		2台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 48KVA		1台
	燃料タンク 200ℓ		1台

## (6)三木浦配水池

公称能力	450m <sup>3</sup> (貯水量)		
経歴	1980年度 (昭和55年度) 竣工		
	2022年度 (令和4年度) 配水池テレメータ取替		
配水池	PC造り(鉄筋コンクリート造) 内法φ10.9m×有効5.2m		1池
	Ve=450m <sup>3</sup>		
契約電力	従量電灯B 15A・kw		
電気設備	テレメーター・コントロール装置 SAS-10 子局		1台
	水位計	光ファイバー式投込液面/圧力発信機	1台
		光ファイバー式電気変換機PSN	1台
	流量計		1台

## (7)三木里浄水場

公称能力	643m <sup>3</sup> /日 (認可値)		
経歴	1978年度 (昭和53年度)	竣工	
	2003年度 (平成15年度)	電気計装盤更新	
	2006年度 (平成18年度)	濁度計・残塩計・流量計取付更新	
	2008年度 (平成20年度)	非常用発電機取替	
	2016年度 (平成28年度)	送水ポンプ取替	
	2017年度 (平成29年度)	取水ポンプ取替	
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ100×0.92m <sup>3</sup> /min×75m×22kw 1,800rpm(内予備1台)		2台
取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ80×0.5m <sup>3</sup> /min×10m×5.5kw 3,600rpm(内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W6.85m×L5.85m×有効2.6m Ve=104m <sup>3</sup>		1池
契約電力	低圧電力 24A・kw 力率90% 従量電灯B 30A・kw		
電気設備	水位計	フロート液面発信機	1台
		現地式水位計	1台
	流量計 電磁流量計(水中型) φ150mm		1台
	自動通報装置		1台
	直流電源装置		1台
	残留塩素計 ポーラログラフ法 AC100V		1台
	濁度計 散乱光方式 AC100V		1台
	サンプリングポンプ AC100V φ20mm		1台
	テレメーターSAS55子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 74KVA		1台
	燃料タンク200ℓ		1台

## (8)三木里配水池

公称能力	375m <sup>3</sup> (貯水量)		
経歴	1978年度 (昭和53年度) 竣工		
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W6.8×L9.2m×有効3.0m=187.7m <sup>3</sup> Ve=187.7m <sup>3</sup> ×2池=375m <sup>3</sup>		2池
	電気設備 投込式 水位計		1台

## (9)賀田第1(北)浄水場

公称能力	1,000m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	1995年度 (平成7年度) 送水ポンプ取替 2000年度 (平成12年度) 電気盤更新 2018年度 (平成30年度) 送水ポンプ取替	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W5.6m×L4.7m=26.3m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻きタービンポンプ φ100×1.0m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井 (井戸)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法φ3.0m×深さ11.5m	1井
契約電力	低圧電力 40A・kw 力率80% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	流量計 電磁式 最大流量1,140m <sup>3</sup> /h 過度流量11.4m <sup>3</sup> /h	1台
	直流電源装置	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷直列	1台
	燃料タンク 60ℓ	1台
	予備タンク 90ℓ	1台

## (10)賀田第1(南)浄水場

公称能力	1,000m <sup>3</sup> /日 (認可値)	
経歴	1982年度 (昭和57年度) 竣工 2005年度 (平成17年度) 送水ポンプ及び濁度計更新 2021年度 (令和3年度) 送水ポンプ更新 2022年度 (令和4年度) 逆洗、取水ポンプ取替	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W11.5m×L5m=57.5m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.5m <sup>3</sup> /min×87m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
逆洗ポンプ	片吸込渦巻きポンプ φ150×3.0m <sup>3</sup> /min×10m×11kw (内予備1台)	2台
取水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ65×0.5m <sup>3</sup> /min×11m×2.2kw (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W6.5m×L5.0m×有効2.0m Ve=65m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 35A・kw 力率90% 従量電灯B 15A・kw	
ろ過器	小型凝集沈殿浄化装置 20m <sup>3</sup> /h	2台
電気設備	濁度測定装置 表面散乱光測定方式	1台
	自動通報装置	1台
	濁度計	1台
	テレメーターSAS55子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1台

## (11)賀田第2加圧ポンプ場

公称能力	1,396m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	1999年度 (平成11年度) 加圧ポンプ取替 2005年度 (平成17年度) 加圧ポンプ取替 2020年度 (令和 2年度) 電気計装盤取替 2021年度 (令和 3年度) 加圧ポンプ取替	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W13.5m×L13.5m=182.3m <sup>2</sup>	1室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ100×0.97m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W5.4m×L5.4m×有効3.0m Ve=87.5m <sup>3</sup> ×4池=350m <sup>3</sup>	4池
契約電力	低圧電力 27A・kw 力率90% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	加圧タンク 第二種圧力容器 φ2.7m×L6.5m Ve=37.2m <sup>3</sup> 最高使用圧 7.1kg/cm <sup>2</sup> 最低使用圧 6.0kg/cm <sup>2</sup>	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
	流量計	1台
エンジン	テレメーターSAS15子局	1台
	ディーゼルエンジン 燃料タンク 90ℓ	1台 1台

## (12)古江加圧ポンプ場

公称能力	1,008m <sup>3</sup> /日 (最大流量)	
経歴	2008年度 (平成20年度) 電気計装盤取替 2019年度 (令和元年度) 加圧ポンプ取替 2023年度 (令和5年度) 減圧弁、フロート弁取替	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積A=W13.5m×L6m=81m <sup>2</sup>	1室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ80×0.7m <sup>3</sup> /min×63m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W12m×L6m×有効3.0m Ve=216m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	コンプレッサー 3.7kwオイルフリーベビコン 0.93MPa 850rpm 405ℓ/min	1台
	加圧タンク 圧力容器(横円筒型) φ2.2m×L4.5m Ve=19.3m <sup>3</sup> 9kg/cm <sup>2</sup> 胴板19mm 鏡板19mm	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
	流量計	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
エンジン	投込式 水位計	1台
	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式 燃料タンク 90ℓ	1台 1台

## (13)賀田配水池

公称能力	247.6 <sup>m<sup>3</sup></sup> (貯水量)	
経歴	2006年度 (平成18年度) 投込圧力式水位計更新 2017年度 (平成29年度) 配水流量計取替	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W9m×L5m×有効2.75m=123.8 <sup>m<sup>3</sup></sup> Ve=123.8×2池=247.6 <sup>m<sup>3</sup></sup>	2池
電気設備	水位計 投込圧力式 DC4~20mA	1台

## (14)曾根浄水場

公称能力	84 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (認可値)	
経歴	1954年度 (昭和29年度) 竣工 2009年度 (平成21年度) 投込式水位計取付工事	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W7.3m×L6.0m×有効2.3m=100.7 <sup>m<sup>3</sup></sup>	1池
契約電力	従量電灯B 10A・kw(配水池施設) 低圧電力 3A・kw 力率80%(加圧タンク施設)	
電気設備	加圧タンク φ40mm 2.2kw 0.2 <sup>m<sup>3</sup></sup> /min タンク容量 0.5 <sup>m<sup>3</sup></sup>	1台
	加圧ポンプ φ40×0.22 <sup>m<sup>3</sup></sup> /min×2.2kw ※加圧タンク及び加圧ポンプは配水池とは別の場所に設置	1台
	流量計 φ80 (量水器)	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
	投込式 水位計	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200 <sup>l</sup>	1台

## (15)梶賀浄水場

公称能力	152 <sup>m<sup>3</sup></sup> /日 (認可値)	
経歴	1960年度 (昭和35年度) 竣工 2009年度 (平成21年度) 投込式水位計取付工事	
沈殿槽	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W1.2m×L1.0×3.5m	1池
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法W5.0m×L3.0m×有効H2.6m Ve=39 <sup>m<sup>3</sup></sup>	1池
契約電力	従量電灯B 15A・kw	
電気設備	流量計 φ80 (量水器)	1台
	テレメーターSAS15子局	1台
	投込式 水位計	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200 <sup>l</sup>	1台

〒519-3671

三重県尾鷲市矢浜四丁目4番8号

**尾鷲市水道部**

電話：0597-23-8271

FAX：0597-23-8276

e-mail：[suidou@city.owase.lg.jp](mailto:suidou@city.owase.lg.jp)